

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026年2月13日

株式会社トリドールホールディングス

東証プライム 証券コード: 3397

1. サマリ
2. 26/3期3Q累計 連結業績
3. 26/3期3Q累計 セグメント別業績
4. 業績予想
5. 補足資料

1. サマリ

※海外セグメントの略称について

- **Tam Jai** : Tam Jai
「譚仔三哥米線(タムジャイサムゴーミーシェン)」、「譚仔雲南米線(タムジャイワンナムミーシェン)」、「TamJai Mixian(タムジャイ ミーシェン)」の運営
- **MARUGAME** : MARUGAME UDON
丸亀製麺の海外展開の名称
- **Fulham** : Fulham Shore
ピザ業態「Franco Manca(フランコ マンカ)」、ギリシャ料理業態「The Real Greek(ザリアル グreek)」を運営

- 売上収益2,105億円、事業利益159億円は、3Q累計の業績として**過去最高**
- 丸亀製麺は、中間期までの好調を維持し、3Q累計の業績として売上収益及び事業利益は**増収増益で過去最高**、国内その他は**増収減益**
- 海外事業は、丸亀英国事業のフランチャイズ化や不採算店舗閉店等に伴い**減収**の一方、好調なアジア事業が牽引し**増益**となり、3Q累計の業績として事業利益は**過去最高**
- 営業利益163億円は3Q累計の業績として**過去最高**、親会社の所有者に帰属する四半期利益は87億円と**増益**
- 連結業績予想に対して**概ね順調に推移**、主に海外事業の一部における業績改善に不確実性があることを鑑み、**通期業績予想は据え置き**

2. 26/3期3Q累計 連結業績

26/3期3Q累計 連結業績

TORIDOLL→

売上収益、事業利益^{※1}は3Q累計期間で過去最高。海外子会社における株式売却損の計上がある一方、一過性収益^{※2}の計上もあり、営業利益は増益となり過去最高。親会社の所有者に帰属する四半期利益も増益

(百万円)

	3Q累計 実績		前年同期比		26/3通期計画	
	25/3期	26/3期	増減額	増減率	計画	進捗率
売上収益	201,787	210,501 <small>3Q最高</small>	+8,714	+4.3%	282,000	74.6%
売上原価	△ 48,145	△ 51,481	△ 3,335	+6.9%	—	—
売上比	23.9%	24.5%	—	+0.6%	—	—
販管費	△ 139,594	△ 143,125	△ 3,532	+2.5%	—	—
売上比	69.2%	68.0%	—	△ 1.2%	—	—
事業利益	14,048	15,895 <small>3Q最高</small>	+1,847	+13.1%	19,600	81.1%
売上比	7.0%	7.6%	—	+0.6%	7.0%	—
その他の営業損益等	△ 2,511	374	+2,884	—	△ 5,000	—
営業利益	11,537	16,268 <small>3Q最高</small>	+4,731	+41.0%	14,600	111.4%
売上比	5.7%	7.7%	—	+2.0%	5.2%	—
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益	5,977	8,654	+2,677	+44.8%	5,500	157.3%
売上比	3.0%	4.1%	—	+1.1%	2.0%	—

※1事業利益：売上収益－売上原価－販売管理費

※2海外子会社における店舗休業補償（コロナ禍）に関する保険金等

3. 26/3期3Q累計 セグメント別業績

丸亀製麺

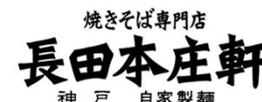
日本国内で本格讃岐うどん専門店「丸亀製麺」を運営する株式会社丸亀製麺

このうどんは、生きている。

丸亀製麺 丸亀製麺

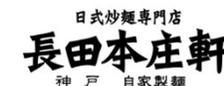
国内その他

日本国内で展開する、丸亀製麺以外の業態



海外事業

海外を拠点に展開する業態の直営店・フランチャイズ等



※「Tam Jai」の日本国内店舗は海外事業セグメントに含まれます

26/3期3Q累計 セグメント別業績

TORIDOLL→

丸亀製麺は売上収益、事業利益で3Q累計期間として過去最高。国内その他は増収減益。海外事業は減収となったものの、好調なアジア事業等の貢献により増益となり、3Q累計期間の事業利益として過去最高を更新

(百万円)

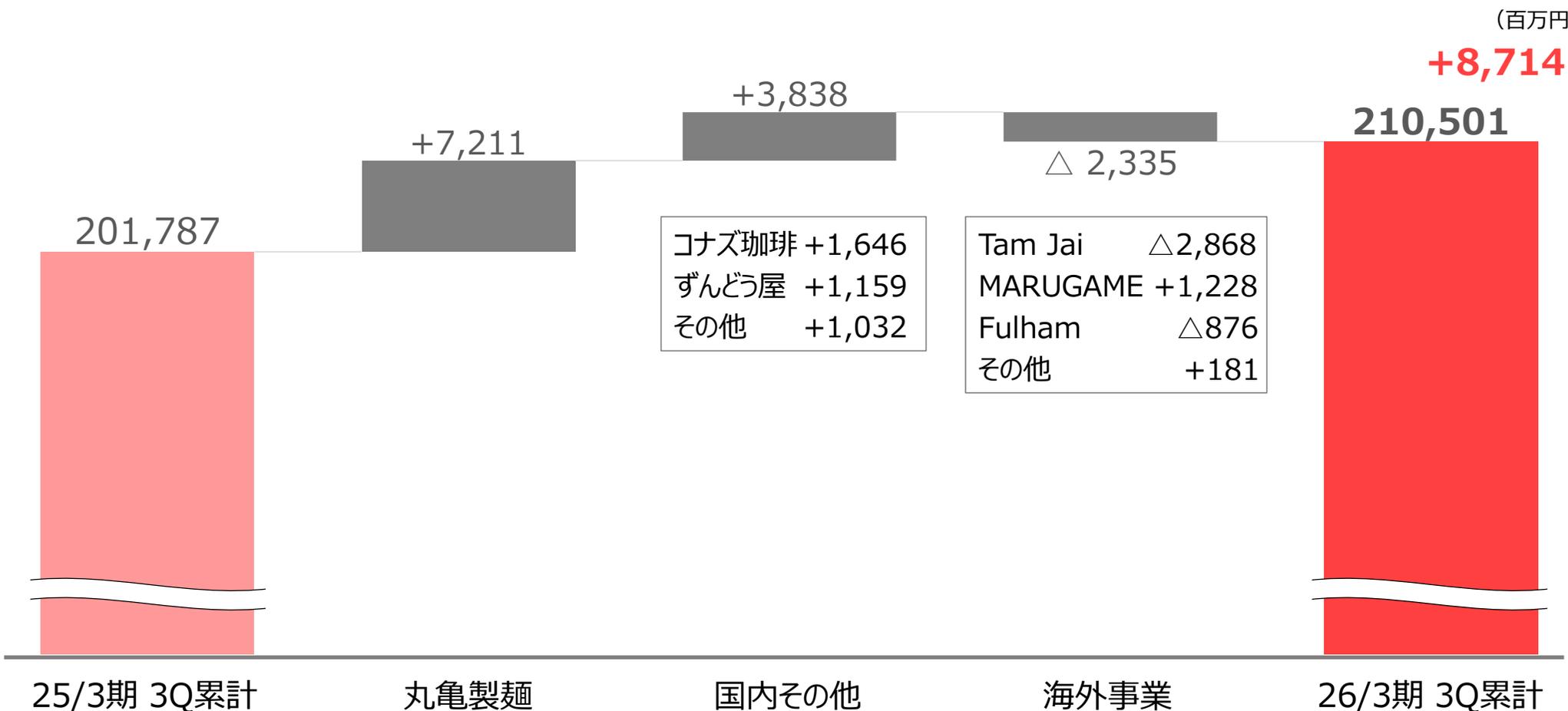
丸亀製麺	3Q累計 実績		前年同期比		26/3期 通期計画	
	25/3期	26/3期	増減額	増減率	通期計画	進捗率
売上収益	97,209	104,420 ^{3Q最高}	+7,211	+7.4%	137,000	76.2%
事業利益	15,971	16,870 ^{3Q最高}	+900	+5.6%	22,100	76.3%
売上比	16.4%	16.2%	-	△0.3%	16.1%	-
国内その他	3Q累計 実績		前年同期比		26/3期 通期計画	
	25/3期	26/3期	増減額	増減率	通期計画	進捗率
売上収益	26,068	29,906 ^{3Q最高}	+3,838	+14.7%	39,000	76.7%
事業利益	3,355	3,224	△ 131	△3.9%	4,900	65.8%
売上比	12.9%	10.8%	-	△2.1%	12.6%	-
国内合計	3Q累計 実績		前年同期比		26/3期 通期計画	
	25/3期	26/3期	増減額	増減率	通期計画	進捗率
売上収益	123,277	134,326 ^{3Q最高}	+11,048	+9.0%	176,000	76.3%
事業利益	19,326	20,095 ^{3Q最高}	+768	+4.0%	27,000	74.4%
売上比	15.7%	15.0%	-	△0.7%	15.3%	-
海外事業	3Q累計 実績		前年同期比		26/3期 通期計画	
	25/3期	26/3期	増減額	増減率	通期計画	進捗率
売上収益	78,510	76,175	△ 2,335	△3.0%	106,000	71.9%
事業利益	1,932	3,954 ^{3Q最高}	+2,022	+104.7%	3,600	109.8%
売上比	2.5%	5.2%	-	+2.7%	3.4%	-
事業利益 調整額	△ 7,210	△ 8,154	△944	-	△ 11,000	-
連結売上収益	201,787	210,501	+8,714	+4.3%	282,000	74.6%
連結事業利益	14,048	15,895	+1,847	+13.1%	19,600	81.1%

26/3期3Q累計 セグメント別売上収益 増減

TORIDOLL→

丸亀製麺及び国内その他は増収。海外事業は丸亀のアジア及び北米事業が貢献した一方、Tam Jaiが前期実施した中国やシンガポールにおける不採算店舗の閉店影響のほか、Fulhamの回復の遅れもあり減収

(百万円)

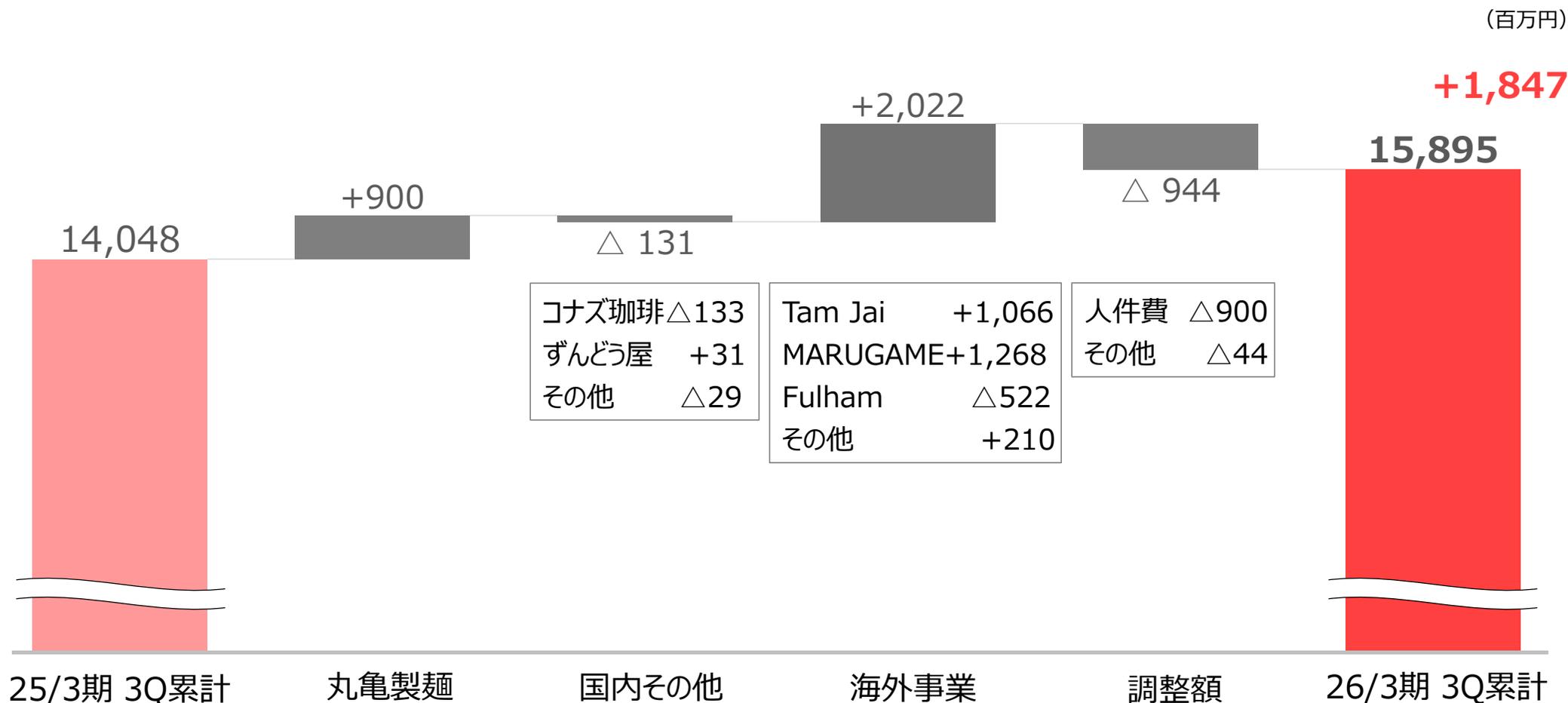


26/3期3Q累計 セグメント別事業利益 増減

TORIDOLL→

丸亀製麺は増益、国内その他は原価高騰等の影響もあり減益。海外事業では、Tam Jaiの収益性の改善及び丸亀英国事業のFC化に伴う黒字化、並びに丸亀アジア事業の貢献等により増益

(百万円)



丸亀製麺 ブランディングカの向上とおいしさの追及

TORIDOLL→

麺職人ならではのおいしさ・品質を訴求、「わがまちうどん47」は47都道府県の地元の味として麺職人が考案。創業25周年として様々なイベントを実施、11月20・21日には香川県丸亀市で「丸亀うどん祭り2025」を開催

フェア商品

10/7～食欲の秋を味わい尽くす
旨辛 肉盛りニラ玉ぶっかけうどん

10/21～麺職人が考案！
全国一斉ご当地企画「わがまちうどん47」

11/25～冬の2大人気商品
鴨ねぎうどん・牡蠣たまあかけうどん

打ち立てのうどんのおいしさ
「ひと口醤油うどん」を無料配布



新作「こく旨 牡蠣バターぶっかけうどん」はSCテナント店中心に販売

うどんーなつ



季節に合わせ、新味発売
SNSなども活用し、若年層やファミリー層の取り込みへ

11/20・21創業感謝祭「丸亀うどん祭り2025」を開催



20種類以上の催しを実施。
来場者数は3万人と、予想を超える集客
うどんの試食によるギネス世界記録™への挑戦や、讃岐うどんの名店コラボうどんをご提供



国内その他 売上収益の内訳

TORIDOLL→

コナズ珈琲及びラー麺ずんどう屋は、既存店及び新店寄与により増収。その他業態では、天ぷらまきのや晩杯屋などの既存店及び新店が好調に推移

(百万円)

国内その他	3Q累計 実績		前年同期比		26/3期 通期計画	
	25/3期	26/3期	増減額	増減率	通期計画	進捗率
コナズ珈琲	8,424	10,070	+1,646	+19.5%	13,300	75.7%
ずんどう屋	8,080	9,240	+1,159	+14.3%	12,200	75.7%
その他業態	9,564	10,596	+1,032	+10.8%	13,500	78.5%
セグメント売上収益	26,068	29,906	+3,838	+14.7%	39,000	76.7%



11/27オープン コナズ珈琲岡崎美合店（愛知県）



10/31オープン ラー麺ずんどう屋道頓堀店（大阪府）



10/10オープン 晩杯屋天満店（大阪府）

国内その他 各ブランドにおける魅力的な商品開発

TORIDOLL→

それぞれの業態において季節に合わせて商品を開発。天ぷらまきの梅田店では、人気の天むすに加え、新たに「天ぷらおむすび」を発売し、売上比200%超え継続の大ヒット

10/1～コナズ珈琲



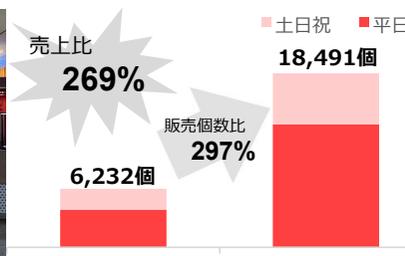
秋限定メニュー「チョコレートモンブランパンケーキ」
 香り豊かなマロンに加えて、ほろ苦く濃厚なチョコレートがナッシュのダブルクリーム。オーダーごとに直径わずか1mmで絞り出すことでふわっとした滑らかなくちどけを実現

11/19～やきとり屋とりどーる（吹田店）



原点となる創業業態！22年ぶりに関西で新規出店
 職人が目の前で焼き上げる本格炭火焼鳥をリーズナブルにご提供。店内中央のせいろからは、名物の「肉汁焼売」の湯気が立ちのぼり、思わず目を引きま

11/25～天ぷらまきの（梅田店）



天ぷら専門店がつくる「天ぷらおむすび」全10種が新登場
 定番人気の天むすに加え、手軽にどこでも本格天ぷらを味わえるこだわりのおむすびをご提供。改札に近い立地という利点も活かし、売上比は269%UP

10/1～ ラー麺ずんどう屋



ずんどう屋初の「ませそば」が登場！
 こだわりの特製豚骨ダレに、もちもちとした強い弾力のある自家製太麺をよく絡め、食べ応え抜群の一品

海外事業 売上収益の内訳

Tam Jai、MARUGAME、Fulham、その他業態それぞれ増減はあるものの、グループ一体となって業態力・マネジメント力の強化を推進中

(百万円)

海外事業	3Q累計 実績		前年同期比	
	25/3期	26/3期	増減額	増減率
Tam Jai	41,538	38,670	△2,868	△6.9%
MARUGAME	18,274	19,502	+1,228	+6.7%
Fulham	16,280	15,404	△876	△5.4%
その他業態	2,418	2,599	+181	+7.5%
セグメント売上収益	78,510	76,175	△2,335	△3.0%

Tam Jai

前期実施の中国大陸・シンガポールにおける不採算店舗の戦略的閉店の影響あり

MARUGAME

英国事業のフランチャイズ化による減収の一方、好調な台湾・香港のほか北米の新店が寄与

Fulham

英国の外食市場低迷で苦戦中。体制を強化し、生産性の向上や収益改善に注力

その他業態

香港や中国で展開中の“肉のヤマ牛”が好調に推移。Monster Curryは10月から連結除外



12/26オープン MARUGAME UDON (カナダ)



11/27オープン ZUNDO-YA (インドネシア)



11/10オープン WOK TO WALK (アイランド)

海外事業 進捗状況

Tam JaiとMARUGAMEは、収益性の改善が継続し、増益に寄与。Fulhamは、検証店舗における売上向上や収益性改善の施策に一定程度の成果あり。景気低迷下における抜本的な事業再建策も検討中

区分	地域/ブランド	第3四半期の進捗	事業状況	
			売上収益	事業利益
Tam Jai	香港	<ul style="list-style-type: none"> 香港の外食市況の低迷が継続しており、売上は軟調に推移 店舗の収益性改善が継続しており、事業利益は増益 <ul style="list-style-type: none"> 店舗の勤務シフト管理の強化による人件費率の低減 メニューミックスや原材料の見直しによる原価率の低減 デリバリーと自社CRMのテイクアウトのバランスによる手数料の低減 	 軟調	 好調
	中国大陸	<ul style="list-style-type: none"> 前期に相当数の不採算店舗を閉店した影響で、減収だが赤字幅は削減 店舗モデルの見直しや商品開発により、売上及び収益性が改善 		
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 直営のシンガポールと日本において、店舗の収益性が改善 オーストラリアやマレーシアのFC事業も好調 		
MARUGAME	台湾	<ul style="list-style-type: none"> 高利益率を維持しながら、増収増益を達成し、MARUGAME事業を牽引 	 好調	 好調
	米国	<ul style="list-style-type: none"> フェアメニュー強化や順調な出店により増収 勤務シフト管理の強化と食材廃棄ロス低減により、店舗の収益性が改善 		
	その他/FC	<ul style="list-style-type: none"> 直営の香港は、順調な出店と徹底した店舗オペレーション管理で増収増益 東南アジアのFC事業は、着実な出店もあり、増収増益 ドバイや韓国といった新規参入のFC事業も好調 		
Fulham	フランコマンカ	<ul style="list-style-type: none"> 英国経済は軟調に回復しつつあるが、外食市場の回復は遅れており、両ブランドの売上回復も計画通りには進んでいない 検証店舗で各種施策を先行導入中で、売上増加や収益性改善の成果あり 	 不調	 不調
	ザリアルグリーク	<ul style="list-style-type: none"> 景気低迷下における抜本的な業績改善に向けて、相当数の不採算店舗の閉店等、あらゆる選択肢を視野に入れて、事業再建策を検討中 		

4.業績予想

26/3期 連結業績予想について

TORIDOLL→

3Q累計業績は概ね順調に進捗。主に海外事業の一部における業績改善に不確実性があることを鑑み、通期業績予想は据え置き

(百万円)

	3Q累計 実績				通期			
	25/3期	26/3期	増減額	増減率	25/3期実績	26/3期計画	増減額	増減率
売上収益	201,787	210,501	+8,714	+4.3%	268,228	282,000	+13,772	+5.1%
事業利益	14,048	15,895	+1,847	+13.1%	18,205	19,600	+1,395	+7.7%
売上比	7.0%	7.6%	-	+0.6%	6.8%	7.0%	-	+0.2%
その他の営業損益等	△2,511	374	+2,884	-	△9,531	△5,000	+4,531	-
営業利益	11,537	16,268	+4,731	+41.0%	8,674	14,600	+5,926	+68.3%
売上比	5.7%	7.7%	-	+2.0%	3.2%	5.2%	-	+1.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益	5,977	8,654	+2,677	+44.8%	1,874	5,500	+3,626	+193.5%
売上比	3.0%	4.1%	-	+1.1%	0.7%	2.0%	-	+1.3%
為替レート(期中平均)	実績	実績			実績	前提		
USD	151.6円	147.8円			152.2円	147.0円		
HKD	19.6円	19.1円			19.6円	18.5円		
EUR	164.6円	165.6円			164.4円	154.0円		
GBP	194.1円	200.2円			195.1円	189.0円		

26/3期 セグメント別業績予想 前期比

TORIDOLL→

(百万円)

丸亀製麺	3Q累計 実績				通期			
	25/3期	26/3期	増減額	増減率	25/3期実績	26/3期計画	増減額	増減率
売上収益	97,209	104,420	+7,211	+7.4%	128,142	137,000	+8,858	+6.9%
事業利益	15,971	16,870	+900	+5.6%	20,896	22,100	+1,204	+5.8%
売上比	16.4%	16.2%	-	△0.3%	16.3%	16.1%	-	△0.2%
国内その他	3Q累計 実績				通期			
	25/3期	26/3期	増減額	増減率	25/3期実績	26/3期計画	増減額	増減率
売上収益	26,068	29,906	+3,838	+14.7%	35,412	39,000	+3,588	+10.1%
事業利益	3,355	3,224	△131	△3.9%	4,447	4,900	+453	+10.2%
売上比	12.9%	10.8%	-	△2.1%	12.6%	12.6%	-	+0.0%
海外事業	3Q累計 実績				通期			
	25/3期	26/3期	増減額	増減率	25/3期実績	26/3期計画	増減額	増減率
売上収益	78,510	76,175	△2,335	△3.0%	104,674	106,000	+1,326	+1.3%
事業利益	1,932	3,954	+2,022	+104.7%	2,524	3,600	+1,076	+42.6%
売上比	2.5%	5.2%	-	+2.7%	2.4%	3.4%	-	+1.0%
事業利益 調整額	△7,210	△8,154	△944	-	△9,662	△11,000	△1,338	-
連結売上収益	201,787	210,501	+8,714	+4.3%	268,228	282,000	+13,772	+5.1%
連結事業利益	14,048	15,895	+1,847	+13.1%	18,205	19,600	+1,395	+7.7%

店舗数 3Q累計実績と計画

TORIDOLL→

収益性を重視し立地を厳選して出店。2025年11月14日に開示した出退店計画に対して順調に進捗

(店)

セグメント	25/3期	26/3期 3Q累計			26/3期 通期計画 25年11月14日修正		
	期末店舗数	出店	閉店	期末店舗数	出店	閉店	期末店舗数
丸亀製麺	861	23	6	878	41	9	893
国内その他	274	19	4	289	24	6	292
コナズ珈琲	47	6	1	52	8	1	54
ずんどう屋	104	5	1	108	7	1	110
その他	123	8	2	129	9	4	128
海外事業	914	70	60	924	79	53	940
直営	445	14	26	433	18	25	438
FC	469	56	34	491	61	28	502
連結	2,049	112	70	2,091	144	68	2,125

※26/3期3Q累計実績における海外事業の閉店数には、MONSTER CURRYの19店舗（直営13店舗、FC6店舗）が含まれています
（2025年9月末にMONSTER CURRYを運営するMC GROUP PTE. LTD.を連結から除外）

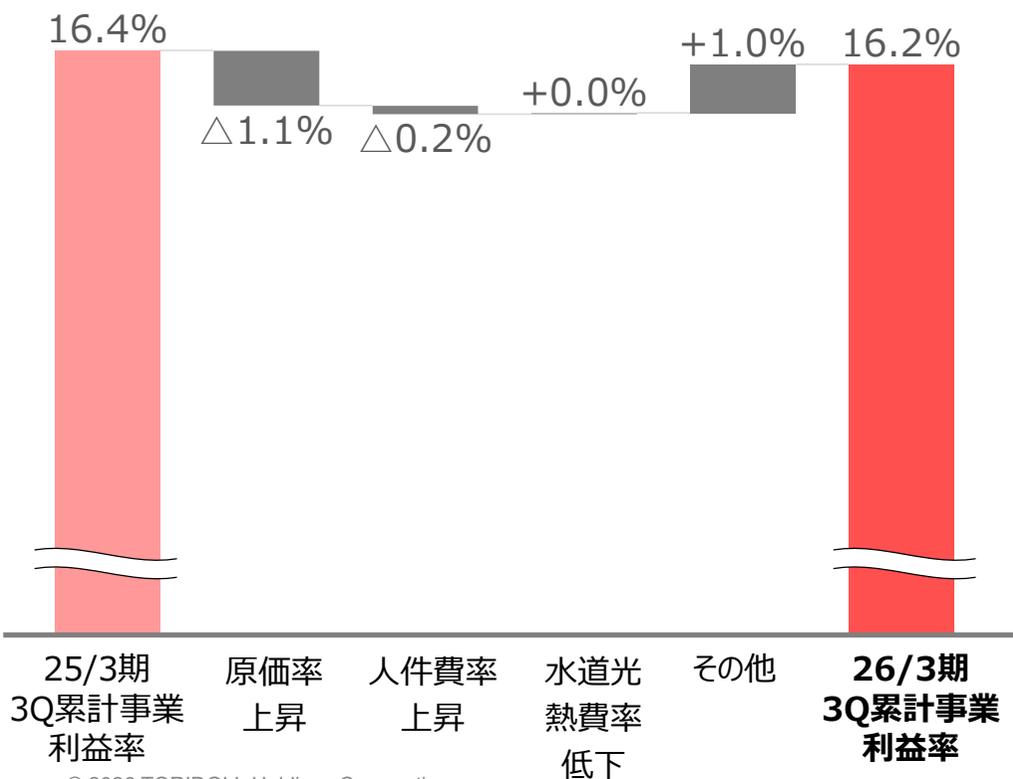
5. 補足資料

26/3期3Q累計 事業利益率 増減要因 (1/2)

TORIDOLL→

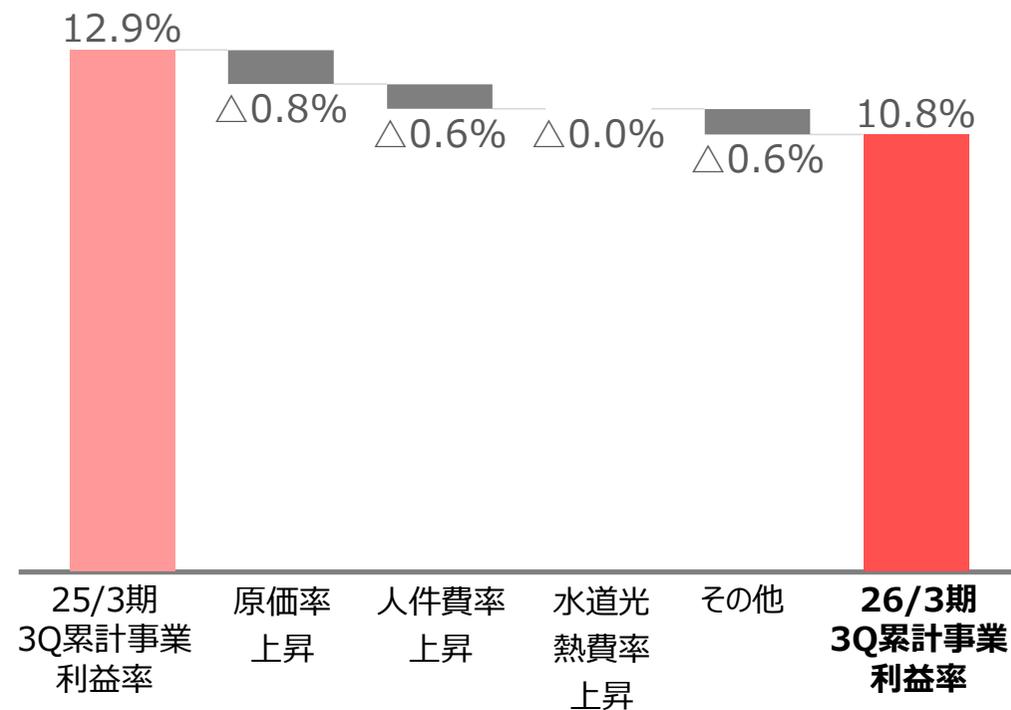
丸亀製麺

一部食材の高騰による原価率の上昇や人件費率の上昇により、事業利益率は低下



国内その他

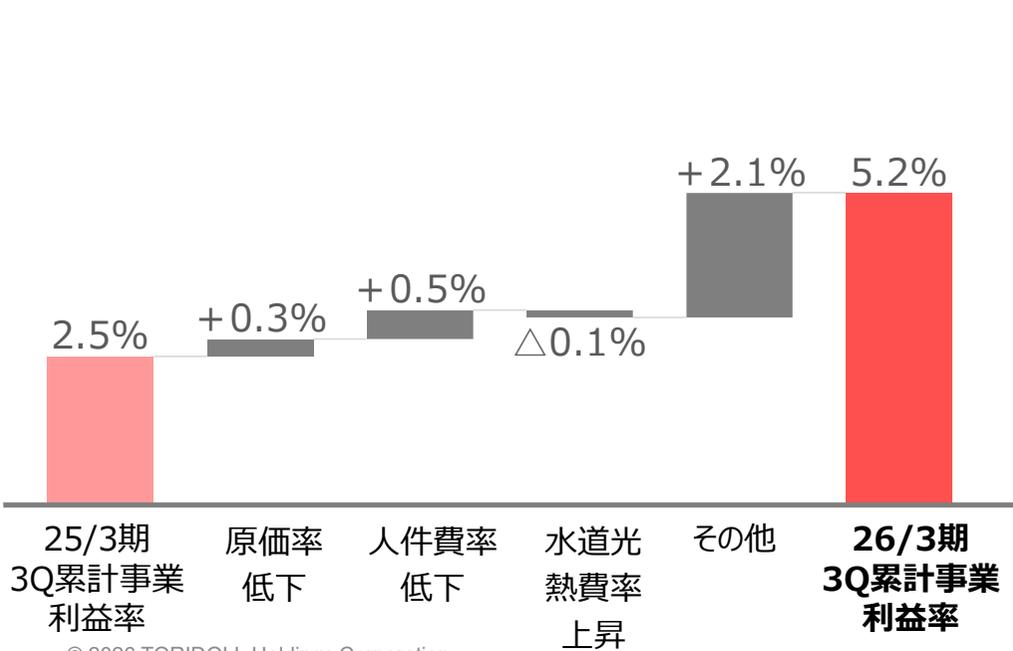
一部食材の高騰により原価率が上昇。店舗従業員の満足度向上のための人材充足により人件費率も上昇し、事業利益率は低下



26/3期3Q累計 事業利益率 増減要因 (2/2)

海外事業

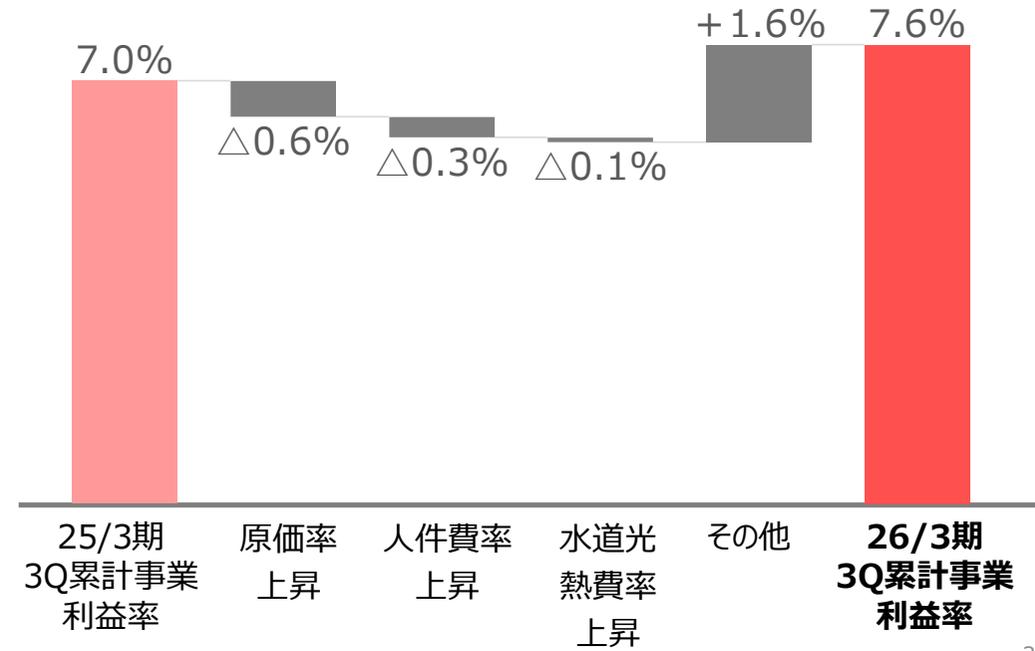
不採算店舗の閉店による収益改善やコストコントロールの強化により、原価率及び人件費率が低下したほか、減価償却費の減少等もあり、事業利益率は上昇



© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

連結

全体として、原価率や人件費率は上昇したものの、増収効果もあり、事業利益率は上昇



26/3期3Q累計 連結BS

TORIDOLL→

海外子会社の完全子会社化に係る負債の返済等により、負債合計と現金及び現金同等物が減少。親会社所有者帰属持分比率は、27.0%から30.7%となり財務健全性は向上

(百万円)

	25/3期末	26/3期 3Q末	増減額
資産合計	323,196	318,456	△ 4,741
流動資産	97,638	86,474	△ 11,164
(うち、現金及び現金同等物)	82,271	69,164	△ 13,107
非流動資産	225,559	231,981	+6,423
負債資本合計	323,196	318,456	△ 4,741
負債合計	226,661	220,787	△ 5,874
(うち、有利子負債)	187,028	175,523	△ 11,505
流動負債	80,504	77,446	△ 3,058
非流動負債	146,157	143,341	△ 2,816
資本合計	96,535	97,668	+1,133
(うち、親会社の所有者)	87,243	97,719	+10,477

26/3期3Q累計 連結CF (キャッシュ・フロー)

TORIDOLL→

主に増収の影響により、営業CF及びFCFは大幅に増加。投資CFは、主に新店及び改装等による支出。財務CFは、主に海外子会社の株式取得による完全子会社化及び本件に係る借入金返済等による支出。CF項目の収支バランスや財務健全性を維持しながら、将来の成長投資に備えて資金調達力の向上を図る

(百万円)

	25/3期 3Q累計	26/3期 3Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,347	38,962	+9,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,999	△ 12,399	△3,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,090	△ 41,251	△23,161
フリーキャッシュ・フロー	20,349	26,564	+6,215
現金同等物の増減額	+2,258	△ 14,687	△16,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,030	69,164	△5,866

丸亀製麺事業における既存店前年比の推移

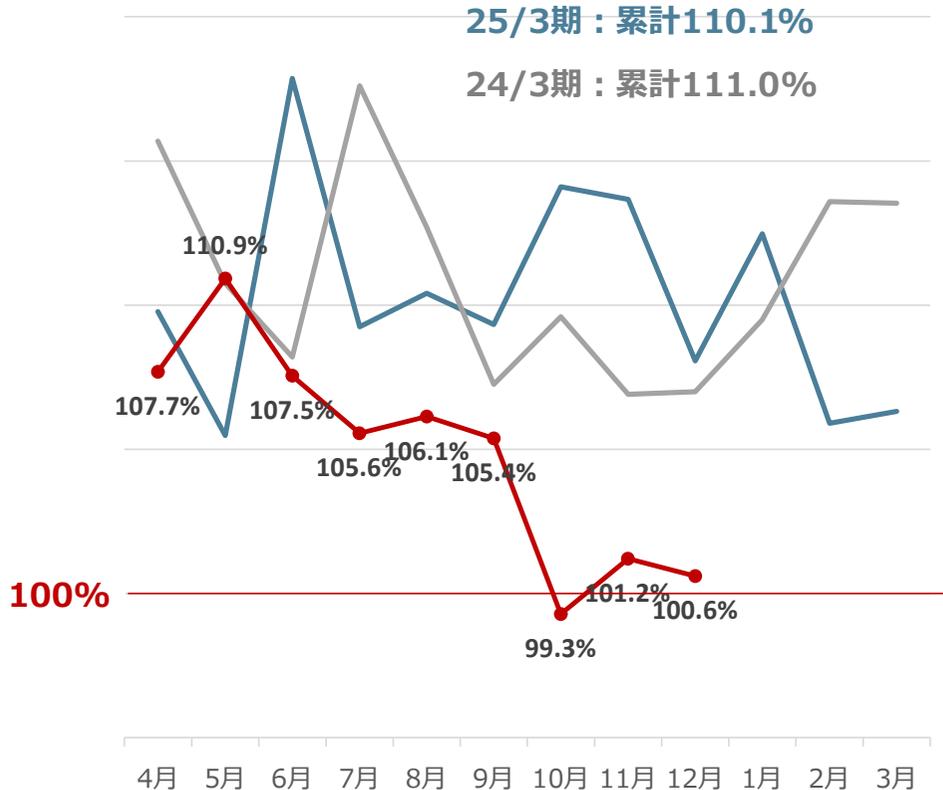
既存店前年比（売上高）は3Q累計で104.9%。足元の客数・客単価は伸び悩み

過去3期における既存店前年比：売上高

26/3期：3Q累計104.9%

25/3期：累計110.1%

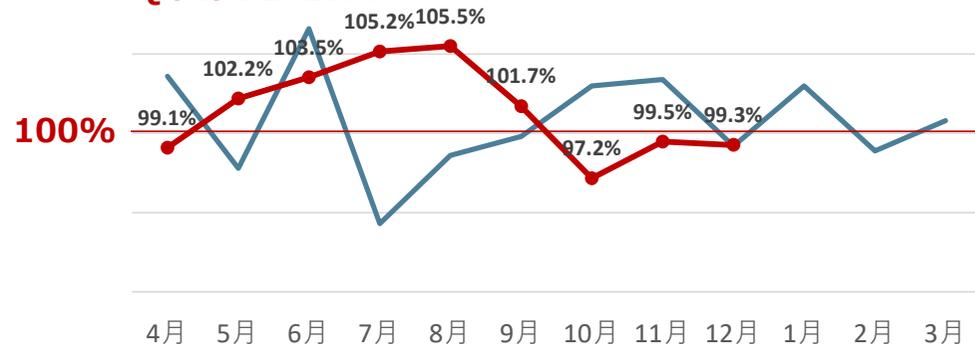
24/3期：累計111.0%



*「既存店」は開店日から18か月経過した店舗

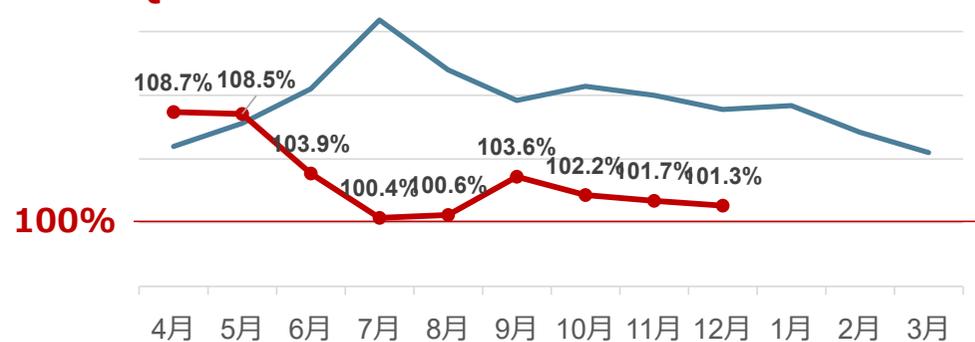
26/3期既存店前年比：客数

3Q累計：101.5%



26/3期既存店前年比：客単価

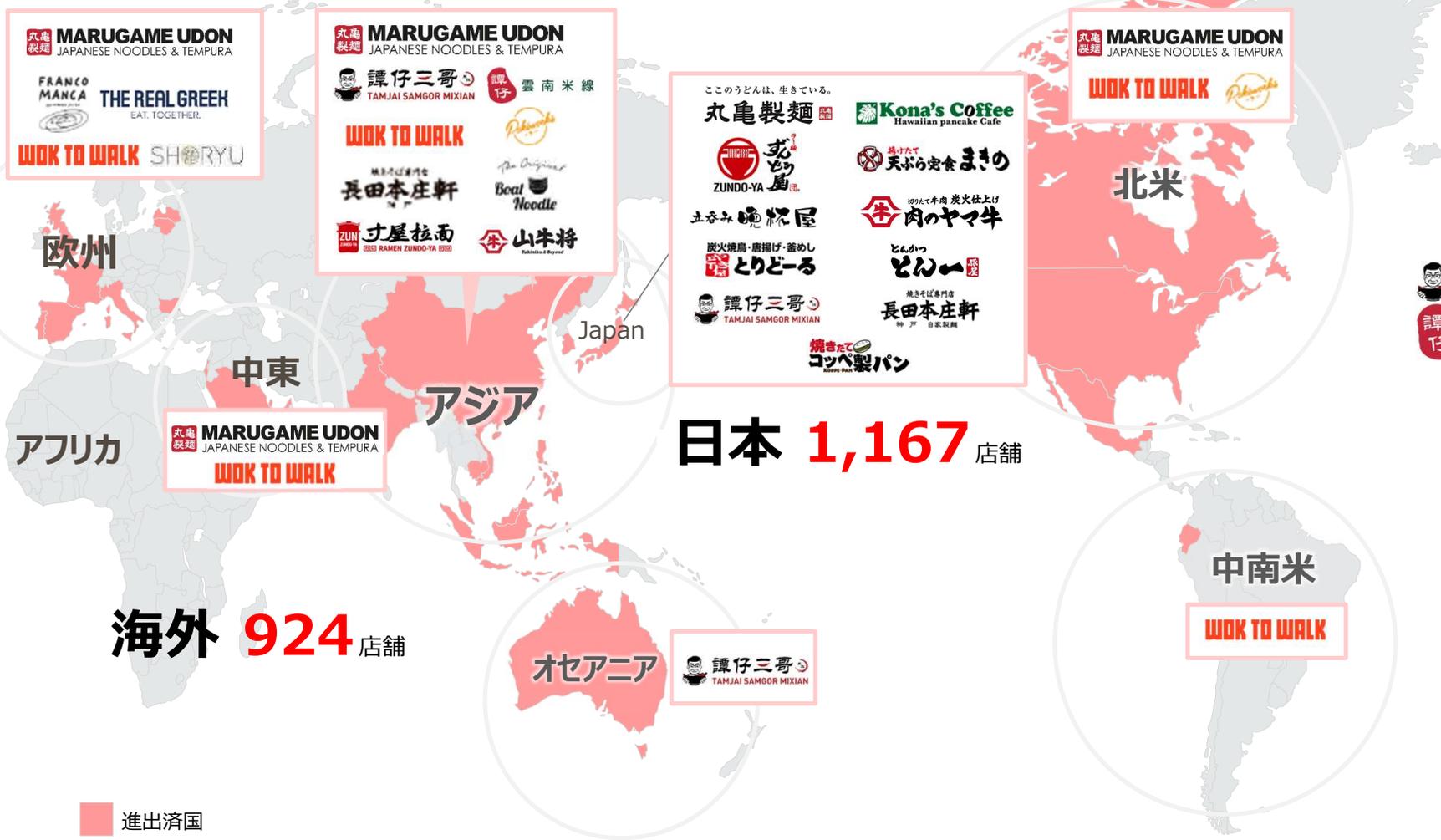
3Q累計：103.4%



事業展開国

TORIDOLL→

31ヶ国・地域で**2,091** 店舗を展開 (2025年12月末時点の店舗数)



日本 **1,167** 店舗

海外 **924** 店舗

ここのうどんは、生きている。
丸亀製麺
 MARUGAME UDON
 JAPANESE NOODLES & TEMPURA

1,216 店舗

日本	878
アジア	304
アメリカ	22
イギリス	9
カナダ	2
UAE	1

譚仔三哥 **231** 店舗

香港	202
雲南米線	16
中国大陸	16
シンガポール	4
日本	3
オーストラリア	3
マレーシア	3

WOK TO WALK **100** 店舗
 ヨーロッパ
 北米/中南米

FRANCO MANCA **70** 店舗
 イギリス
 スペイン

Pokiworks **80** 店舗
 アメリカ
 カナダ
 台湾

進出済国

2026/1/19 朝7:30～9:30のみ販売の伊吹いりこの出汁が香る『朝そば』全4種をメトロセンター西葛西店で1月20日(火)より期間限定で登場

<https://pdf.irpocket.com/C3397/KfQV/zcVd/NoDX.pdf>

2026/1/8 昨年大好評の限定メニューが今年もパワーアップして登場！寒い冬にぴったりな旨み溢れる『牡蠣たま米線』発売！

<https://pdf.irpocket.com/C3397/KfQV/kXcw/bj8x.pdf>

2026/1/7 “冬の手しごと”ならではのおいしさで、心も身体もあたたまる新作が登場

<https://pdf.irpocket.com/C3397/KfQV/WV3F/WiIT.pdf>

2025/12/25 2026年初うどんは、丸亀製麺でめでたい「年明けうどん」を！

<https://pdf.irpocket.com/C3397/hvir/lqix/XIA8.pdf>

2025/12/18 「丸亀製麺調味料五種セット」初の全国販売開始

<https://pdf.irpocket.com/C3397/PDLX/LLnt/JF6A.pdf>

2025/12/5 トリドールHDが推進する「心的資本経営」店舗での新制度が始動 丸亀製麺「ハピカンキャプテン」の認定式を開催

<https://pdf.irpocket.com/C3397/PDLX/Ec0t/TbxI.pdf>

2025/11/27 兵庫・姫路発の「ラー麺ずんどう屋」ハラル認証取得の『鶏白湯』でインドネシア初出店！

<https://pdf.irpocket.com/C3397/VowW/Ulu0/IskM.pdf>

2025/11/20 今年も冬のあつあつ「丸亀うどん弁当」始めます

<https://pdf.irpocket.com/C3397/VowW/hwei/ICXb.pdf>

2025/11/20 冬の2大人気商品『鴨ねぎうどん』『牡蠣たまあんかけうどん』が今年も登場！

<https://pdf.irpocket.com/C3397/VowW/LE7t/FC6T.pdf>

2025/11/14 トリドールHD創業の原点「とりどーる」22年ぶりに関西で新店。大阪「吹田店」が11月19日(水)オープン！

<https://pdf.irpocket.com/C3397/KfQV/VzAc/Ho6h.pdf>

2025/10/28 打ち立てのうどんに、技と想いと感謝を込めて「創業感謝祭」開催

<https://pdf.irpocket.com/C3397/LgpJ/fnyZ/qqI9.pdf>

連結PL&セグメント別収益推移表 (Excel)

<https://www.toridoll.com/ir/account/index.html>

食の感動で、
この星を満たせ。

TORIDOLL→

どうしようもなく食べたくなる。

店に行くたびに驚きがある。

味覚だけでなく、五感までも揺さぶられ

食べ終わるのが惜しくなって、

また明日も来たくなる。

本能が欲ぶほどの圧倒的な感動体験で、

目の前のお客さまを、世界中の人々を

毎日ワクワクさせ続けよう。

食の感動に、国境などない。

これからも予測不能な進化を遂げ続けて、

人類を幸せで満たしながら、

食の世界の頂へと駆け上がれ。

それができるのは、きっと私たちしかいないから。